

ID: [REDACTED]

性別 [REDACTED] 生年月日 [REDACTED]

様

お薬手帳にはさんでおきましょう。  
処方が出た場合には薬局窓口でこの説明書を提示してください。

【ベンダムスチン/リツキシマブ(BR)療法】

スケジュール: 通常4週間1コースで治療を行います。

(患者さんによってはスケジュールを変更する場合があります。)

		今回のサイクル																												次サイクル													
		4																												5													
日付		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
点滴	トリアキシン (ベンダムスチン)	    がん細胞のDNA合成を防ぐことや様々な効果によりがん細胞を死滅へと誘導する薬剤です。約1時間かけて点滴します。																																									
	リツキシマブBS (リツキシマブ)	  分子標的薬と呼ばれる薬剤で、CD20という抗原のついたBリンパ球を破壊し、腫瘍を小さくします。安全のため始めはゆっくりと点滴して段階的に点滴速度を上げます。																																									
副作用	投与時反応	リツキシマブ初回点滴開始後30分から24時間の間に、息苦しさ、脱力感、発熱、悪寒、頭痛が生じることがあります。症状を感じましたらすぐにお知らせください。																																									
	腫瘍崩壊症候群	急速に腫瘍が壊れることにより腎臓に負担がかかることがありますので、水分を十分にとり尿量を増やすように心がけてください。																																									
	注射部位の痛み	2-3割の患者さんで点滴中に注射部位の痛みを感じることがあります。痛みを感じる場合はすぐにお知らせください。																																									
	吐き気・食欲不振	治療法に対応した吐き気止めを使用しますが、治療日から数日間、むかつきや食欲不振が起こることがあります。辛い症状がある場合にはご相談ください。																																									
	倦怠感	治療日の2~3日後から数日間起こることがあります。無理をせずに体を休めましょう。																																									
	口内炎	骨髄抑制の時期は特に起こりやすくなります。点滴後からうがいや口の中を清潔に保つよう心がけましょう。																																									
	骨髄抑制	点滴後10~14日頃が白血球や血小板の数が一番少なくなることが予想されます。この時期は手洗い・うがいをして感染症にかからないよう心がけ、ケガや転倒に気をつけましょう。																																									
	便秘	制吐剤によって腸の動きが悪くなります。水分を十分にとり、下剤を調節して便秘を予防しましょう。(市販の下剤でも構いません。)																																									
	下痢	1日3回以上の下痢が生じる場合があります。水分を十分にとって脱水を防ぎます。必要に応じて下痢止めを使用します。																																									
	アレルギー様症状	半数以上の患者さんに治療開始直後あるいは数日経過後に発疹、かゆみなどの皮膚症状や、咳、のどのしめつけ感、発熱、悪寒などの症状が認められることがあります。																																									

副作用の出方には個人差があります。また、頭痛、味覚障害など、上の表以外の副作用が出ることもあります。  
**★治療期間中は免疫細胞(リンパ球)の減少により免疫力が低下します。そのため感染を予防するため抗ウイルス剤(アシクロビル)、抗菌剤(バクタ)等を服用していただきます。感染には注意し、発熱、脱力、咳、息切れ、全身発疹などの異常時にはすぐにご連絡ください。**詳しくは小冊子を参照してください。不快な副作用はできるだけ軽くするように支援しますので、辛い症状がある場合には医療スタッフに相談してください。